

さよなら「木と造形」

自然の大切さを訴え続けた三年間

作品展でプログラムに幕

三年間関わって自然との
触れ合いと、その大切さをテ
ーマに掲げられてきたことも
の展示形態事務局のプログラム
「木と造形」が春休みで終わ
りました。

プログラムの最後を飾る、
素材との出会い展「木と造形」
が三月二十日から四月八日ま
で一階ギャラリーで開催され、
子どもたちの作品などが工夫
をこらして展示されました。
また、造形スタジオでも木
を素材にしたワークショップ
が行われ、子どもたちは自分
の好きなものを作って、楽し
い体験をしていました。

テントもある
釣り堀。布製の
席はクヤキの皮で
染めてある



シイタケではありません。子どもたちのかわいい木工作品展



千葉県の大湊川に打ち寄せられた流木で体長
4mの大魚が……

